

平成 22 年度予防接種後副反応報告書集計報告書 補遺

DPTワクチンについて

平成 22 年度の死亡事例 8 件は、症状が重複しているもの等があるため、実際の人数は 6 名である。症例概要は以下のとおり。

- (1) 4 ヶ月女児 1 期初回接種の翌朝、突然顔色不良となる。救急隊到着時心肺停止。搬送先病院で救命措置するも死亡。
- (2) 7 ヶ月男児 ヒブワクチンとの同時接種 7 日後、うつぶせで心肺停止状態で発見。解剖所見から死因は乳幼児突然死症候群とされた。
- (3) 5 ヶ月女児 ヒブワクチンとの同時接種 2 日後の夜から頻呼吸を認め、接種から 3 日後の深夜、呼吸の異常を認めた。その後、呼吸停止。解剖所見から死因は急性循環不全とされた。
- (4) 1 歳女児 小児用肺炎球菌ワクチンとの同時接種の当日深夜から高熱。翌日、うつぶせで呼吸停止状態で発見。患者の咽頭ぬぐい液からヒトメタニューモウイルスが PCR 検査により同定され、急性感染症による死亡の可能性が示唆された。
- (5) 3 ヶ月女児 ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンとの同時接種 3 日後に死亡。
- (6) 6 ヶ月女児 ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンとの同時接種の翌日昼、顔色異常、眼球上転、意識消失の後に死亡。解剖所見から死因はシャント血栓症による急性循環不全の疑いとされた。

(2) ~ (6) の 5 名については、子宮頸がん等ワクチン接種後副反応検討会において「ワクチン接種と死亡例との間に、直接的な明確な死亡との因果関係は認められない。」と評価されている。

また、(1) の 1 名については、予防接種健康被害救済の申請に係る審議において、ワクチン接種との因果関係は否認されている。

日本脳炎ワクチンについて

日本脳炎ワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の症例 1 件について、その後、日本小児科学会雑誌において、「髄液等よりエコーウィルスが分離され、ウイルス性髄膜脳炎であった可能性が高い。」との報告がされており、また、薬事法上の報告についても取り下げられた症例である。

なお、予防接種健康被害救済の申請があったが、疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会で審議され、ワクチン接種との因果関係は否認されている。